



敷地：東京都千代田区 秋葉原
 用途：商業・オフィス 複合施設
 模型：模型 1/100 敷地模型 1/1000

インターネット時代の現代において人々は容易にたくさんの情報を得られるようになった。SNS や AI の発達によって、その特性はさらに強化されていく。
 しかし、それと同時に未知なるものへの**探求心**や、新たな時代を切り開くような**ハングリー精神**が損なわれてきているように思える。
 本提案では情報社会によって奪われつつある、**かつての人間らしさや街らしさをとり戻し、新たな価値を創造**することを目的とする。



【敷地 —秋葉原電気街—】

2023年10月、20年間議論されていた秋葉原の再開発が決まりました。敷地はその再開発区域の一部で、秋葉原電気街の玄関口となる場所です。電気街周辺は超高層に囲まれていて、浸食されようとしています。



【歴史 —時代と共に新しさを生み出す街—】

現在の秋葉原は戦後の闇市から始まり、ラジオ部品、家電、アニメなど時代の最先端やブームを生み出す街であった。



しかし、インターネットで様々なものを閲覧したり購入ができる時代において、新しさを創出する街としての価値は失われた。現在の秋葉原は**コンテンツを消費するだけの街**であり、かつて新しさや未知のものを求めて街にくり出した人々の代わりに、外国人観光客で賑わいを見せている。

【リサーチ —探求性のある街—】

秋葉原の街はたくさんの商品や広告があふれ、どこか**宝探しをするような感覚**がある。その秋葉原の探求的空間の秘密を探るべく、リサーチを行った。

【アキバ的建築 —ペンシルビル—】

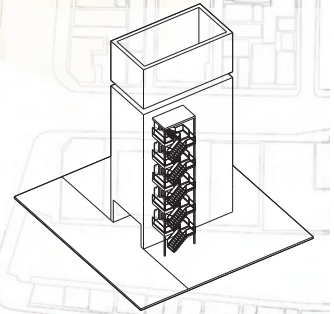
秋葉原の街の特徴づけるのはペンシルビルである。狭く細長く立ち上がった鉛筆型のビルは通りに対して並列的に並べられている。

<ペンシルビルの特徴>

- ・幅いっぱいについて街と連属した1階部分
- ・広告に覆われて閉じられた壁面
- ・上部部に積みあがられた広告塔
- ・側面に供えられた非常階段

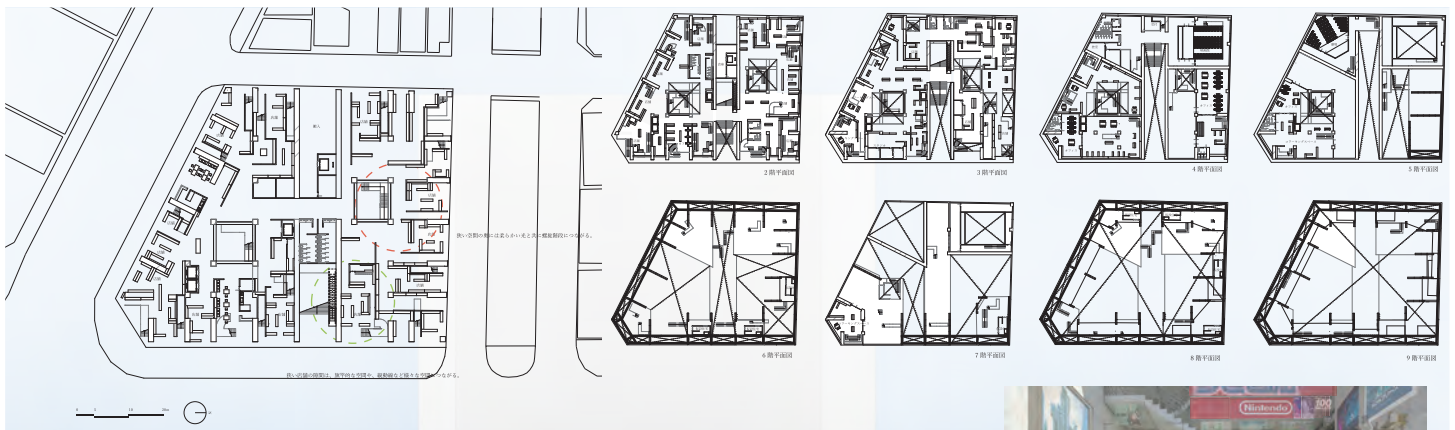
<広告塔のデッドスペース>

空に伸びる広告塔は象徴的なものであるが、不変的なものであり、スポンサーの権威を示すための都市空間の無駄遣いである。ただ、その広告が秋葉原の景観をつくりだしているのも事実である。秋葉原の雰囲気を壊さずに有効利用できる可能性を考える。



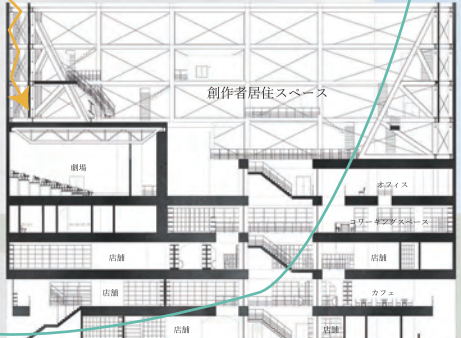
広告やグランドレベルにあふれる商品は、外部に対して表面的な情報を開示し、**街全体としての景観をつくりだす**。それとは対照的に閉じられた壁面や吹き抜けの無い空間は**外部の情報を遮断**する。また、側面の非常階段は閉じられたビルに回遊性を持たせ、**建築と建築との隙間で、普段の街の様子とは異なる景観を見出す**。





商品や階段で見え隠れし、奥につながる様々な開口

トラス内の光ダクトにより、
広告塔内の低層部にも光が届く。



水平方向に引き込まれた探索者は、
垂直方向に広がる空へとたどりつく。



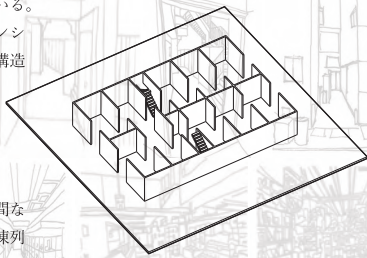
奥へ続く道の途中の小さな居場所

【アキバ的街構造 —小さな空間との出会い—】

中層のビルが連なる秋葉原だが、小さな店の集積でその建築は出来ている。通りや動線に対して、居場所となる空間やお店が顔を出す。ここからペンシルビルのように開口部が通りに対して次々とつながる海ブドウ型の空間構造がみられる。



小さな空間は小売り店舗やペンシルビル内の売り場、ビルとビルの隙間などさまざまである。海ブドウ構造は都市スケールだけでなく、店舗内の陳列棚の配置にも平面的に用いられる。



【アキバ的奥 —狭さの先に続く奥—】

小さな空間の中をスケッチで分析する。ファサードとなる大きな開口はあふれだす商品棚やポップ、外付けの階段によってその奥は見え隠れする。

商品棚は天井までつまれ、門型の開口が入れ子状に連続するような空間である。ファサードにも縦線線の開口、棚と棚の隙間、奥へと続く廊下など様々な開口が並列する。

狭い内部空間は行き止まりと思うような場所でも、その先に続く道の入り口を発見する。

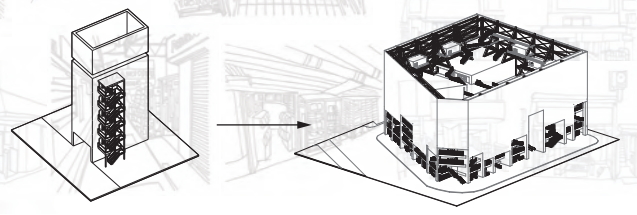
秋葉原の奥は、軸線の通った抜けた奥ではなく、狭い道の中でずれた開口を発見することにある。

【プログラム —消費だけの街から創造も兼ねる街へ—】

現在の電気街は商業空間がほとんどを占めており、かつてのような新しさのある商品を買っているわけではない。新しさを発信していく秋葉原を取り戻すために創作の空間を追加する。

創造の空間でつくられたものは表面の広告に張り出され、商品として出される。また、劇場や映画館とも連動し、発信される。

商業空間は、狭さの先に奥を見つめる秋葉原の空間を用いる。
创作者のための空間はデッドスペースとなっている広告塔の中に、空に開いた広い空間をつくる



商業空間から広告塔の奥へとつなぐ階段

広告塔の裏へ行われる創作活動

超高層に見せる内側の広告、空のもとで新たにつくられる暮らし